

「鬼は～外！！福は～内！！」



デイ・サービス利用状況(定期利用者数)

月	火	水	木	金	土	日
7名	7名	8名	8名	7名	8名	7名

ナイスな勉強会・・・今回のテーマ「勝手な思い込み」

どんな仕事にも必ずある「勝手な思い込み。」ホームヘルパーという仕事は、他の仕事以上にこの思い込みが命取りになることがあります。各家庭でそれぞれやり方がある・・・どころの騒ぎではありません。各々の生活歴・病歴・性格・好み・言葉の使い方や伝え方で随分変わってしまうのです。

受け止める側の捉え方一つでその人の個性を尊重できるか否かが決まります。例えば、

生活援助、①食事の味付け ②使用する食器・調理器具 ③調理したものの保存方法 ④洗剤の使い方 ⑤掃除機をかける床、雑巾かけする床 ⑥洗濯物の洗い方・干し方 ⑦ギュッと閉める蛇口、ゆる～く閉める蛇口 ⑧買い物するお店や品物のメーカー名 ⑨戸は開けておくのか閉めるのか ⑩物品の片付け方 など

身体介護、①やれないはずだから全部やってあげよう・・・→ ちょっとした介助があれば自分でできるかも。

②言葉が上手く話せないから聞くのをやめてあげよう・・・→理解できるまで何度でも聞いてほしいかも。

③聴こえてないから聞いてみましょうがない・・・→近くでハッキリと話したらわかるかも。

④目を閉じて反応無いからわかってない・・・→全部わかるけど反応できないだけかも。

⑤身体はやさしく洗ってあげなきゃ・・・→たまの入浴、身体はしっかり洗ってほしい。

⑥食べるのがすごく早い・・・→もう少しゆっくり口元まで運んでくれたら焦らず食べられるのに。

などなど想像したら数限りなくでてきます。

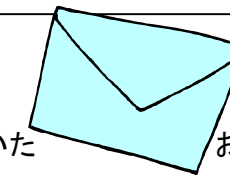
とにかく、ヘルパーとして満足できるサービス提供が出来る時ってほとんどないに等しいくらいです。「あの時確認すれば良かったあ・・・」と後悔する事が沢山あるのです。

利用者の皆様！！サービス中に感じたことはできるだけ教えて下さい。ヘルパー歴が長かろうが短かろうが“人の言葉や気持ち、身体の状態、精神的な状態”を察知することはとても難しいことです。

ヘルパーが勝手に“分かっている”つもりにならないように、利用者の皆様も“分かっている”つもりにならないように、お互いが「??」と思った時に改めて声を掛け合える関係を築きたいものです。

次回のテーマ:「待つこと」

我が家の介護便り 第2通



8月16日から八事日赤病院に入院していたお父ちゃんは、その後リハビリ病院に転院。病院内での快適な生活に慣れた頃、私が「お正月は家に帰っておいで」と言うと、家族への負担を考えたのか「帰らん。帰らんでええ！」の一点張り。

自宅は、階段が多く、手すりもない。トイレも風呂も狭いし、寝る場所は畳の上の布団・・・。とっても健康体向きの構造です。さすがのお母ちゃんも「我が家では無理かも。」と少々不安気味。

さらに、介護保険は申請したものの、居宅介護支援事業所(ケアマネージャー)が決まっておらず、福祉用具のレンタルもすぐには難しいと言われてしまった。

でも、「一度は自宅に帰ってもらわないと、何が不便だから改善しなきゃいけないのか分からない!!」と、皆を説得した。(娘の私としては、入院生活のリハビリも同じことの繰り返しで少し退屈そうに見えたので、今やっているリハビリが自宅に帰るために必要なことなんだと実感してもらいたい気持ちもあったのです。)

とりあえず、困るだろうと予測できるものの対処方法を考えてみた。

結果、階段は弟が担当。歩行などの移動は病院で使っている歩行用具と同じものをお母ちゃんが購入。寝る場所は、私達が小さい頃につかっていた2段ベットを倉庫から引きずり出した。夜間のトイレは病院で使っている尿器をそのまま借りる。入浴はもちろん私が担当。さあ、一時帰宅の決行です。

平成15年12月31日、弟が愛車でお父ちゃんを迎えに行き、リハビリの先生に“車への乗り降り”や“階段の昇り降り”などを指導してもらった。案外スムーズにやれたらしい。

私が仕事を終えて自宅に帰った時には、普通にソファーに座りテレビを見ていてビックリ!!

心配していた夜間のトイレは朝まで1回も起きなかった。本人も驚いていた。(どうやら、最初に帰宅を渋ったのはこのトイレが心配だったらしい)。その他、自宅内でのことは時間がかかろうがなんだろうが、自分ことは自分でやってもらった。

やれるんだからやってもらわなきゃね!!

12月31日、1月1日、2日とのんびりと過ごすことができたものの、残念なのは私が担当するはずだった入浴。結局は、お父ちゃんの風呂嫌いの性分がでてしまい、「面倒くさい病」勃発で父娘でケンカしたあげく、病院に戻る前日、お母ちゃんがせっせこ身体を拭きました。「あ～あ・・・」

ナイス家の畑

～ 切干大根作り ～



利用者さんに頂いた巨大な大根と畑で採れた大根を皆でせっせと切りました。



スタッフの独り言・・・

今年のお正月は生まれて初めておせち料理にと“黒豆”を煮ました。

友達に『氷砂糖・塩・しょう油・重曹を入れるんだよ』と教えてもらい・・・恐る恐る作りました。出来栄は まあまあ・・・。

義母に「これからは作ってもらおう!」と言われてしまったので、あと数回作って来年のお正月には、自慢の一品として皆においしく食べてもらいたいものです。

川野 信子



編集後記・・・

あつ というまに、はや2月も3分の1を過ぎました。

今年の節分は、東北東の方向をみながら太巻きを1本丸かじりできたけど、食べている最中にしゃべってしまったので「福を逃すかもしれないよ」と聞きちょっとガッカリしています。